

(3) 本時の展開

冒頭に必ずガイダンスを入れ、学習者が本時の学習のねらいと見通しを持てるようにする。次に、導入における教師の発問を吟味する。学習は教師の問いによって学習者の主体的な探究活動が始まる。

活動の内容によって「展開1」「展開2」などのように活動を区切って示す。

(4) 本時の準備

授業に必要なもの、準備するものを教師と生徒に分けて記載する。

(5) 板書計画

板書計画を図示し、黒板に掲示する題材名や目標、学習の流れ、学習のポイントなど、見やすくわかりやすい配置を考える。

8. 本時の指導

(1) 本時の指導目標

1) 「思考力、判断力、表現力等」に関する指導の目標

- ・自分の身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけることができるようにする。
- ・主題を基に、形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの構想を練ることができるようにする。

2) 「学びに向かう力、人間性等」に関する指導の目標

発想や構想の学習に向かう意欲的な態度を養う。

(2) 本時の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>発 身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけている。</p> <p>発 主題を基に、形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの表現の構想を練っている。</p>	<p>態表 身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけている。</p> <p>態表 主題を基に形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの表現の構想を練っている。</p>

(3) 本時の展開

時間	学習内容・生徒の活動	※教師の活動・留意点 ▽指導 △評価 備考
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ガイダンスを受ける ・何を(目的)どのようにして(方法)学ぶのか確認する ◎今日の目標を知る 	<p>※本時の学習の目標と学び方を伝え、1時間の見通しを持たせる。目標は必要最低限に絞り込み分かりやすく簡潔に伝える。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①学校の問題点をピクトグラムで解決しよう ②見やすいピクトグラムになるよう、形や構成を工夫しよう </div>	
展開1 (15分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>展開1 ピクトグラムで解決できそうな学校の問題を探す</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎個人で考えた後、グループで意見交換をし、一人一人主題を決める 	<p>▽普段の学校生活で自分たちが困っていること以外にも、学校の来校者の視点に立って、必要と思われる情報についても考える。</p> <p>▽問題点の中でも、よりピクトグラムに表すことで効果がありそうなものを吟味する。</p>
展開2 (20分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>展開2 見えやすさを考えながらアイデアスケッチをする</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎制作のポイントをおさえる ・形を単純化、強調する ・大きさ、画面の構成を工夫する(クローズアップ) ・アイデアスケッチを複数描く ◎より見えやすく美しい構成を考えながらアイデアスケッチを行う ◎中間鑑賞会を行い、友達のアアイデアスケッチを見て回る ◎残りの時間でアイデアスケッチを修正する 	<p>▽自分だけに分かる形でなく、より多くの人に伝わる、見え方の美しいピクトグラムになっているか考える。</p> <p>△校内の環境を見つめ直し、目的や条件を基に、アイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけようとしている。発 態表</p> <p>△主題を基に、形を単純化したり強調したりして画面の構成を工夫し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの表現の構想を練ろうとしている。発 態表</p> <p>▽全員のものを見て回り、パッと見て内容が伝わる形になっているか、大きく描けているか、どの形が分かりやすいかなどの視点を持って鑑賞するように指導する。</p>
まとめ (10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 学校の問題を解決するような、見え方の美しいピクトグラムとは？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎中間鑑賞を通して、学校の問題を解決するような、見え方の美しいピクトグラムにはどんなものがあったか振り返る ・振り返りカードに記入する ◎友人の振り返りの発表を聞く 	<p>▽問題を具体的に捉え、それらを思い切って単純化・強調して絵に表すことが大切であることを確認する。</p>

(4) 本時の用具(準備)

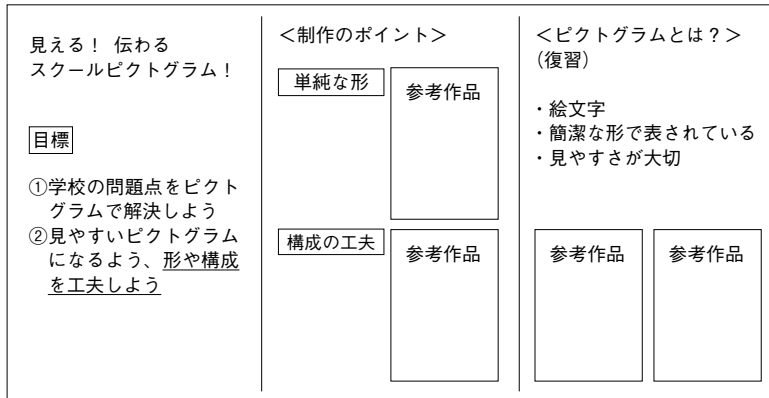
教師：振り返りカード、アイデアスケッチ用ワークシート、モニタ、パソコン、

掲示物各種

生徒：筆記用具

(5) 板書計画

目標の貼り方、板書のレイアウト（手描きでよい）



(指導案作成：高田悠希子教諭)

学習者主体の指導案

1977(昭和52)年の学習指導要領から、文章の主語が教師主体の「子どもに～させる」から学習者主体の「子どもが～する」に変わっていく。このことは教師が主体となって「～させる」授業から、子どもが主体となって「～する」授業への改善が込められている。言うまでもなく、学習は子どもが主体である。「主体的に学習に取り組む態度」は子どもの内発的動機から生まれるものである。よって、教師が「～させて」できるものではない。子ども自身が自ら学びに向かう授業になるように教師は学習環境を整え、指導においても子どもの主体性を引き出す支援が考えられるように指導案の書き方も気をつけたい。

[2] 創造的な楽しい授業づくりの工夫

ガイダンスの充実

ガイダンスは学習者に学ぶ目的と学び方の方法を伝え、学習の見通しを持たせる上で重要である。見通しが持てた学習者は、自分から主